

## 4年生 特別講義

皆さんは、レッドリボンを知っていますか？

毎年12月1日は、WHO（世界保健機関）が定めた‘世界エイズデー’です。

レッドリボン（赤いリボン）を身につけることで、「エイズを理解し、差別や偏見を持たない意志」を示すものです。乳がんのピンクリボン等と並んで有名なリボン運動です。

看護学科4年生は、エイズについて理解を深めるため、大分県西部保健所から講師をお招きして講義を受講しました。そして、レッドリボンを使ってポスターを作成しました。

日 時：11月29日火曜日2限

講 義：「HIV／エイズ ～ レッドリボンを知っていますか？ ～」

講 師：大分県西部保健所 地域保健課 保健師 三股 結衣子 様

### 12月1日は世界エイズデー (World AIDS Day)

世界エイズデー：

1988年にWHO（世界保健機関）が世界的レベルでの エイズまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見等の解消を図る ことを目的として、12月1日を“World AIDS Day”と定め、エイズに関する啓発活動等の実施を提唱。



一人ひとりがHIV/エイズを“自分事”と捉えて、感染予防、  
偏見・差別の解消へ

### レッドリボンを知っていますか



“レッドリボン”は、古くからヨーロッパに伝承される風習のひとつで、もともと病気や事故で人生を全うできなかった人々への追悼の気持ちを表すものでした。

アメリカでエイズが社会的な問題となってきた1990年ごろのこと、様々な分野で活動するニューヨークのアーティストたちにもエイズがひろがり、エイズで死亡する人々が増えていきました。

そうした仲間たちに対する追悼の気持ちとエイズに苦しむ人々への理解と支援の意思を示すため、“赤いリボン”をシンボルにした運動が始まりました。

レッドリボンは、あなたがエイズに関して偏見をもっていない、エイズと共に生きる人々を差別しないというメッセージです。



講義終了後、グループに分かれて、レッドリボンを使ったポスターを作成しました。



完成したポスターは、校内に掲示しました。

